



充実した二学期に…

長かった夏休みが終わり、学校に子供達の元気な声と活気が戻ってきました。今日から二学期がスタートしました。二学期は八三日を予定しています。学期の中で一番長く、教育活動が充実する時期になります。一人一人が勉強に運動に精一杯力を発揮して、大きく成長できるように、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様には、引き続き本校教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一人一人の成長を ～夏休みの水泳から～

夏休みに入り、三年以上を対象に三日間の水泳補習を行いました。七月二十九日(金)には、希望者を対象に自己記録に挑戦する「泳力チャレンジ」を実施しました。

補習一日目、「動画で何回も平泳ぎの泳ぎ方を見てきました」と、やる気いっぱいになって来た女の子は、泳力チャレンジの日に、百メートルを完泳しました。

息継ぎの度に足をついてしまっていた男の子は、泳力チャレンジの直前まで特訓を受け、二五メートルを泳ぎました。この前まで顔をつけるのが苦手だった男の子は、十六メートルを泳ぎ、赤帯に進級しました。

一生懸命に取り組む、「できた」を実感した時、子供達は達成感と自信、そして新たな目標に向かって挑戦しようとする意欲が溢れてきます。

二学期も、一人一人の進歩をしっかりと見取り、共に成長を喜び合いながら、子供達の「できた」とやる気を引き出していききたいと思います。



自己ベストをめざせ！【泳力チャレンジ】



バタ足うまくなったよ【水泳補習】



次は息継ぎだ！【水泳補習】

国語っておもしろかったんだ教室

問題

「ここではきものをぬいでください」

ぬぐのは「きもの」？それとも「はきもの」？

読点一つで意味が変わる、言葉っておもしろいですね。夏休みの八日間、三・四年生の子供達を対象にした「国語っておもしろかったんだ教室」が、今年も開校されました。講師には、竹田悦子氏、前田由紀子氏が来てくださり、子供達はことばのきまりなど、国語の基礎的なことを楽しく学びました。



暮らしのなかに好奇心

夏休み中、学校に虫捕りに来ている子供の姿を見かけました。生活科の学習の延長でしょうか。

小さい頃からさまざまな体験を通して、「なぜ」「どうして」と好奇心をもつことで、自然科学への興味は高まります。低学年の生活科で行う動植物の栽培は、好奇心を育てる絶好の学習です。



先日、ある新聞に、「子供達の理科離れは何が理由か」で始まるコラムが掲載されていました。「大人も子供も、暮らしのなかにある様々な事象に好奇心の芽を見いだすことが大切」とあり、最後に「こう締めくくっていました。「身近なゴキブリも叩き潰すだけの存在でなく、『なぜ、こんなにすばしっこいのだろう?』と関心を示せば、自然や科学の理解が深まる」と。

大人の方が、暮らしのなかに好奇心をもつことが必要かもしれません。

校内整備作業

八月二十日(土)、育友会役員、一年生保護者の方々を中心に校内のペンキ塗りや草引き等の整備を行ってくださいました。

暑い中、早朝よりありがとございました。

